

入院診療計画書

病棟： _____ 様

診断名： 肝細胞癌 （経皮的ラジオ波焼灼療法） ver.1

年 月 日

特別な栄養管理の必要性： 有 ・ 無

推定される入院期間： 4～7日間

主治医：	担当看護師：		患者様サイン欄：		ご家族サイン欄：		
	1日目	2日目 □治療当日	3日目 □治療当日	4日目	5日目	6日目	7日目
達成目標	治療について理解 することができる	合併症が出現することなく過ごすことができる 治療後、安静度を守ることができる		合併症が出現することなく 過ごすことができる	治療後の生活の留意点について理解することができる		
安静度 リハビリ 退院	・病院内を自由に 歩くことができます。	・治療までは病院内を自由に歩くことができます。 ・治療後は少なくとも5時間はベッドに寝たまま、 仰向けで安静にしてください。 ・治療翌日から病院内を自由に歩くことができます。		・病院内を自由に 歩くことができます。	□医師の指示により 午前中に退院できます。	□医師の指示により 午前中に退院できます。	□医師の指示により 午前中に退院できます。
食事	・常食又は肝臓食が 摂れます。 	●検査当日は、 ・朝食後から飲んだり食べたりできません。 ・夕食から常食又は肝臓病食が摂れます。					
注射・薬剤		点滴を昼から行います。	朝・夕に抗生剤の点滴 を行います。				
検査			ラジオ波焼灼術施行した翌日および2～3日後に採血があります。 				
処置		・（ ）月（ ）日の午後より ラジオ波焼灼術を行います。					
清潔 (シャワー・入浴など)	・入浴できます	・治療前までは入浴はできます。 ・治療後は入浴はできません。		・入浴はできません。	・治療後3日目から 発熱がなければ入浴 できます。		
排泄	・歩いてトイレに行く ことができます。	・治療後ベッドに寝たままの時のみ、 ベッド上排泄になります。 ・治療翌日から歩いてトイレに行くことができます。					
患者様及び ご家族への説明	・医師が入院中の 検査、治療全般に ついての説明を します。 ・看護師が入院後の 生活・治療について 説明します。	・痛みはある場合は痛み止めを使用することが出来ま す。 我慢せず看護師にお伝え下さい。			・医師が退院について説明します。 ・看護師が退院後について説明します。 ・退院後2週間は激しい運動を控えて下さい。 		

注1）病名及び治療内容等は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたがい変更することがあります。

注2）入院期間、表記の日時については入院時での予定です。

板橋中央総合病院